

## 新型コロナウイルス感染者が出た場合のクラス等の対応について

(R4. 2. 18)

### 感染の陽性判明日

- ・ オミクロン株のウイルスの潜伏期間は2. 8日なので、感染の最終接触日から3日後にPCR検査を実施。
- ・ コロナの陽性者が出たクラス・部活動等の生徒は、まず、その日は下校し、3日間自宅待機。感染している場合には、3日間で症状が出るので、ほぼすべての陽性者を突き止められることになり、これ以上、感染の広がりはないということになる。
- ・ なお、この期間に発熱等の症状が出れば感染疑いとなり、病院で受診。
- ・ 仮に、早め（翌日や2日目）に検査してしまうと反応が出ない場合があり、感染者を突き止められずに、感染拡大につながる可能性がある。
- ・ なお、感染力は発症1日前（無症状の状態）が最も強いとされている。

### 4日目にPCR検査

- ・ 検査（プール法）では、検体採取から結果判明まで2日かかる。

### 6日目にPCR検査結果判明

- ・ 結果的に、休校期間（6日間）は潜伏期間をほぼカバーしており、6日間でクラスの感染の広がりをほぼ把握したことになる。
  - ・ なお、これは原則であり、感染状況により期間等に変更があります。
- **国立感染症研究所の分析**：食事時等に、マスクをせずに50cm以内の距離で感染陽性者と会話をすると100%感染。 **おしゃべりはマスクの徹底**